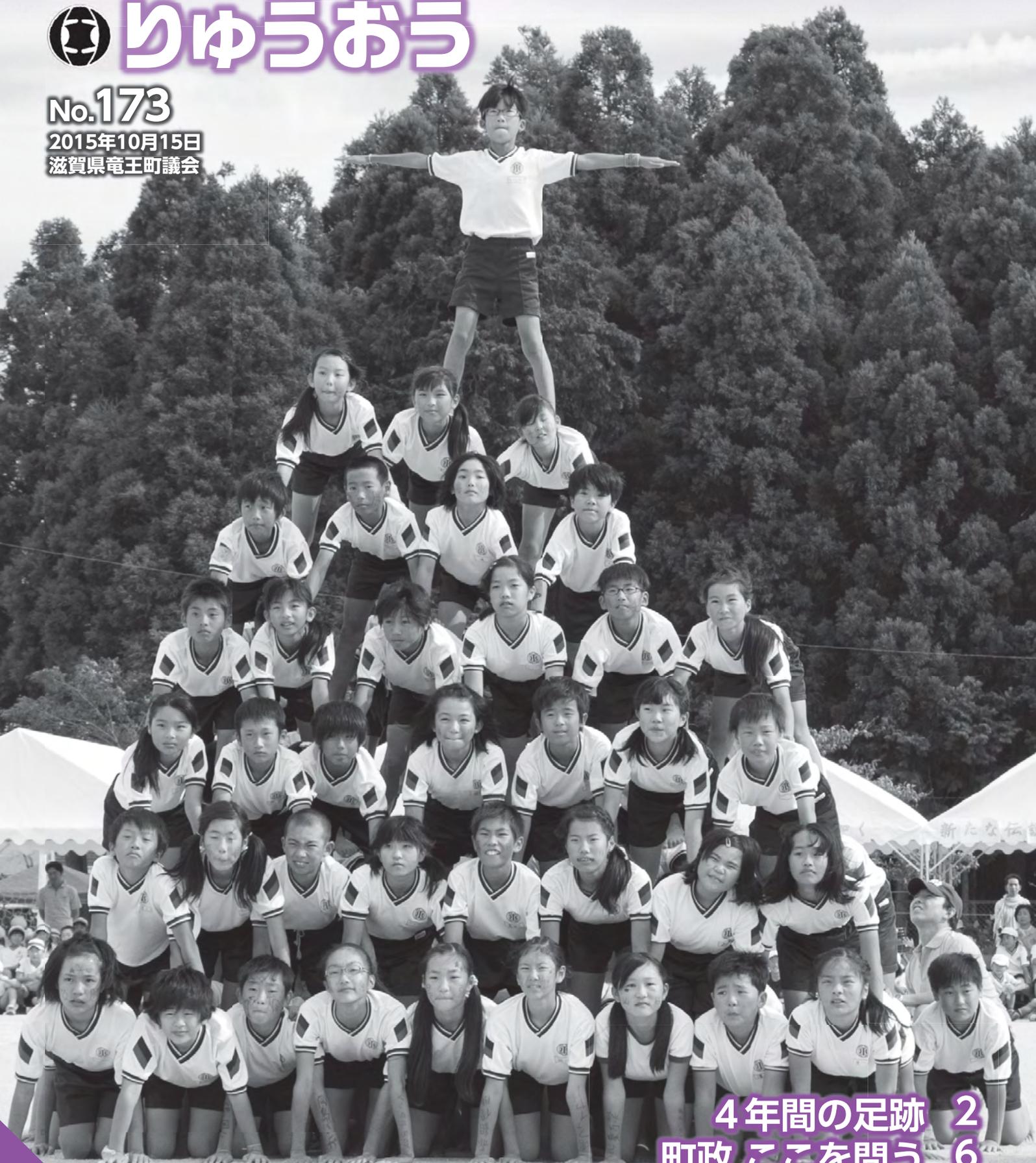


議会だより

りゅうおう

No.173

2015年10月15日
滋賀県竜王町議会



4年間の足跡 2
町政 ここを問う 6
新議員紹介 11

8月
定例会

竜王小学校 運動会

の足跡

平成
23年

- 11月 (臨時会) 小中学校・幼稚園へのエアコン導入決定
- 12月 「障害者総合福祉法の早期制定を求める意見書」を国に提出



幼稚園に設置されたエアコン

平成
25年

- 3月 **14年ぶりの大型予算**(一般会計・特別会計・公営企業会計) 滋賀竜王工業団地造成工事に伴い**予算総額94億323万円**
- 4月 (臨時会) **期限切れ水道量水器問題**2,653個の交換(修繕)補正可決
- 10月 (臨時会) 台風18号による災害復旧工事費用 約8,700万円補正可決
- 12月 特別支援学校の「設置基準」の策定を求める請願を受け、県に意見書を提出
自動車関係諸税の簡素化及び負担軽減を求める意見書を国に提出

工業団地の現場視察



平成25年9月 台風18号



平成
26年

- 6月 (仮称) 竜王消防出張所に隣接し、町防災拠点施設を整備するため約2,500万円補正可決
定住促進**住宅リフォーム助成事業**補助金増額の補正可決
- 8月 (臨時会) **庁舎別館火災**(1月発生)に伴う復旧関連費用約1億3,000万円補正可決
危機管理体制を迫及
- 12月 米価下落等対策を求める請願を受け、国に意見書を提出

4年間



平成24年12月 一般廃棄物処理施設反対看板

平成
24年

- 3月 環太平洋経済連携協定(TPP)交渉に関する意見書を国に提出
竜王町立竜王小学校改築基金条例の制定
10年後をめどに改築予定
- 9月 国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算を **否決**
副町長の選任案件を **不同意**
- 12月 「近江八幡市が竹町地先に一般廃棄物処理施設を建設することに竜王町長の建設反対の意思表示を求める請願書」について賛成多数で採択



平成27年4月

竜王中学校灯油流出事故発生

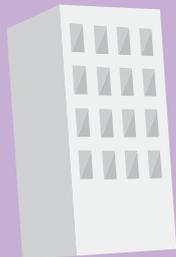


平成27年3月 たつの子議会を開催



平成
27年

- 3月 子ども議会「竜王町たつの子議会」を開催
12人の子ども議員がまちづくりへの提言を行う
- 5月 町民懇談会を開催
「人口減少・若者定住・子育て」について意見交換(49名が参加)
(臨時会) 竜王中学校灯油流出事故(4月発生)に伴う対応関連費用 約8,000万円補正可決



常任委員会の活動

総務産業建設常任委員会 8/21

審査

一般会計補正予算（第3号）

1億7,664万5千円を増額し総額63億9,126万7千円に改める。

- 問** 自立支援給付費1,600万円増額の内訳は。
- 答** 一般給付で生活介護支援が600万円、就労移行支援が400万円、療育事業分が600万円です。
- 問** 普通交付税の額（5,134万4千円）は確定された額か。
- 答** 確定した額です。

自立支援給付とは

障がいのある人の自己決定を尊重し、サービス提供事業者と対等な関係に基づき、障がいのある人が選択し、契約によりサービスを利用する仕組みです。



近江うし丸

調査

ふるさと納税

「竜王町未来につなぐふるさと交電寄附」

謝礼品の提供を導入。また、観光振興にもつながる制度へと拡充することで収入のアップを図る。

- 問** これまでの寄付金は年間どのぐらいあったのか。
- 答** 年間でおおよそ10万円くらいです。



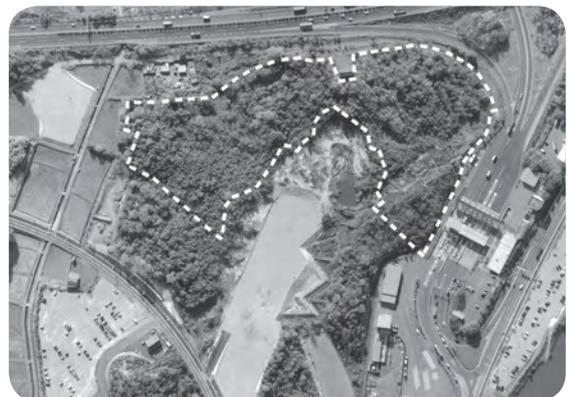
他市町の謝礼品のパンフレット

調査

小口地先 町有地

町有地の有効活用を図るため、売却先を公募することから、境界の確定により正確な敷地面積を明示し、不動産鑑定を行う。

- 問** これまで正確な敷地面積は確定していなかったのか。
- 答** 企業立地予定者が行う予定だったが計画が不成立となり、町が確定する必要があります。
- 問** 隣地企業が開発を進めてきた場合、町有地はどうするのか。
- 答** 協議し様々な連携ができるものと考えています。



小口地先の町有地

調査

国保診療所(医科)の状況

平成26年3月から2年間の指定管理となった。受診者数は伸びておらず、採算ベースには乗っていないものの、指定管理者には町民の健康維持に努めていただいております。指定管理については平成28年度も引き続き実施していきたい。

問 施設等の整備拡充はどのように考えているのか。

答 施設や器具は現状での対応とし、故障等については協議しながらできる限り支援していきたいと考えています。



特別委員会の活動

調査

住宅施策の状況

IBMグラウンド跡地利活用について、IBMの調査結果をもとに、三者(町・IBM・コンサル)検討会を開催。他にも鷺川・須恵の町有地の利活用と山之上地先の住宅施策ではアクセス道路整備に国の交付金を申請中。



IBMグラウンド跡地

問 検討会では町の要望は反映されるのか。

答 若者定住に即した住宅地となることを要望しています。

答 空き家対策は進展しているのか。

問 現在の空き家状況は既存宅地で81戸、団地を入れて全体で130戸となっていて、問い合わせは5件ありました。

調査

(株)雪国まいたけについて

(株)雪国まいたけ取締役会長から残地の有効活用を図るため、売却を検討していることの報告があった。

問 売却に向けた土地利用(分譲)計画素案が出されたが、農工法計画の変更は可能なのか。

答 県との協議において、ある程度決まったら変更手続きに入ることができます。

問 いつごろまでに手続きに入れば可能か。

答 年内中に方向が決まれば可能です。

町政 ここを問う!

8月定例会で6人が一般質問を行いました。

ページ	質問事項	質問者
6	竜王町環境基本条例のその後について	古株 克彦
7	竜王町障害児ホリデーサービス事業について	貴多 正幸
	行政事務執行の見直しについて	菱田 三男
8	1. 介護予防・日常生活支援総合事業について	内山 英作
	2. 地域コミュニティ計画の策定について	
	3. ボランティア・町民活動センターの設置について	
9	1. 竜王農業の振興は進んでいるのか	松浦 博
	2. 青年団の育成と団室の更新について	
10	「若者定住・人口増加プロジェクト」の進捗はどうか	山田 義明

質問席



古株 克彦 議員

問 竜王町環境基本条例の その後は

答 基本計画を今年度中に策定予定

問 平成26年3月に制定され4月1日より施行された竜王町環境基本条例の「基本計画」策定の進捗状況は。また、主要道路沿いに集積された回収品の景観への影響について伺う。



回収品が集積された状況

ブリックコメントの実施、関係機関への意見照会などを行って、平成28年3月に計画策定予定。集積された回収品については、地権者を通じて再三撤去等を求めているが、いまだに改善する様子がなく、今後も引き続き要請する。

答 本条例に基づく竜王町環境基本計画の策定に向けた進捗状況については、平成26年度、27年度の2カ年で計画策定作業を進めている。昨年度は、住民アンケート調査の実施、計画書素案の作成等を行い、今年度には、計画書原案の作成、パ

問 竜王町障害児 ホリデーサービス事業は

答 より効率的で効果的な
事業の推進を図る



貴多 正幸 議員



障害児ホリデーサービスの様子

答 事業に対する支援者および活動場所の確保が困難な状況の中で、まず、支援者不足の解決策として、近隣の高等学校に依頼をし、高校生にも支援員として参加してもらっている。

次に活動場所については、他事業の兼ね合いから鶴川ふれあいプラザの他に竜王町公民館や鏡ふれあいプラザを活用して事業を実施しているが、既存の施設を活用する中で利用希望者全てを受け入れることは厳しい状況である。

また教育委員会として、特別支援学級の児童・生徒の学校以外での生活の様子を把握してもらえ、積極的に教職員に対しても積極的な参加を呼びかけている。

今後は、現状の課題解決にとどまらず、協議検討を行い、より効率的で効果的な事業の推進を図りたい。

問 この事業については、年々利用者が増加傾向であるが、町としての対応は。

また、教育委員会はどのような関わりを持っているのか伺う。

他に竜王町公民館や鏡ふれあいプラザを活用して事業を実施しているが、既存の施設を活用する中で利用希望者全てを受け入れることは厳しい状況である。

また教育委員会として、特別支援学級の児童・生徒の学校以外での生活の様子を把握してもらえ、積極的に教職員に対しても積極的な参加を呼びかけている。

今後は、現状の課題解決にとどまらず、協議検討を行い、より効率的で効果的な事業の推進を図りたい。



菱田 三男 議員

問 行政事務執行の見直しは

答 鋭意検討を進める



上下水道料金 お客様センター(役場上下水道課内)

答 上下水道料金以外に類々の業務として、戸籍・住民窓口業務、課

問 限られた体制の中で、新たな職員の配置を行うのではなく、いわゆる官民連携による業務全体のレベルアップを図る手法は有効であると考えますが、包括業務委託を導入した上下水道課以外の部門においても同様の検討が行われるのか伺う。

税・徴収業務などがある。これらの業務は町の規模からすると費用対効果が得られにくいことや業務内で個人情報を取り扱うこと、関係法令との整合性について慎重に取り扱わなければならないことから、県下でも実施されていないが、民間業者の活用による業務全体のレベルアップを図ることは有効な手段と考え、今後、鋭意検討を進める。

問 介護予防・日常生活支援 総合事業は

答 新総合事業検討会議を立ち上げ、
検討中



内山 英作 議員

問 サービス内容は大きく二つに分かれる。一つは、介護や生活支援を必要とされる方に対して訪問型サービスや通所型サービス等を提供する事業。もう一つは、全ての高齢者を対象に、住民主体の介護予防活動の育成・支援を行うなどの事業。

また、「訪問型サービスD（移動支援）」のサービスは、通所型サービスの送迎、移送前後の生活支援と規定されている。

問 本事業はどのような内容のサービスになるのか。また、「訪問型サービスD（移動支援）」のサービス内容について伺う。



介護予防活動の様子



問 現在、地域コミュニティ計画の策定率が0（ゼロ）%であることの原因はなにか。策定率100%を目標としての今後の取り組みについて伺う。

問 地域コミュニティ計画の策定は

答 地域の課題を見出す
きっかけづくりとなる

問 現在、地域コミュニティ計画の策定率が0（ゼロ）%であることの原因はなにか。策定率100%を目標としての今後の取り組みについて伺う。

答 平成22年度に町内全自治会において実施した自治会の健康診断「地域カルテ」の取り組みをもとに話し合いを始められたいくつかの自治会に対して支援を行ったが、最終的に計画書として取りまとめることができなかった。

重要な取り組みとして、第五次竜王町総合計画後期基本計画の中でも位置づけていく。



▲自治会の健康診断（平成22年度第五次竜王町総合計画）

問 ボランティア・町民活動 センターの設置は

答 社会福祉協議会と
連携・検討していく



竜王町ボランティアセンター
（福祉ステーション2F）

問 町内のボランティア団体、個人の数について伺う。

次に、ボランティア・町民活動センターの設置についての考えを伺う。

答 竜王町ボランティアセンターへの登録数は、地域福祉活動等が18団体、趣味活動が9団体、個人が3名である。

今後、まちづくり担当を中心に関係各課が連携を深め、竜王町社会福祉協議会とも相互に連携しながら、集える場づくり、きっかけづくりなどボランティア活動の推進、ボランティアセンターの充実をめざす。

問 竜王農業の振興は 進んでいるのか

答 農家の実質所得を上げることが 農業振興には重要



松浦 博 議員

問 農地集約によつて、どのように「竜王らしい農業」をめざすのか。
また、町が考える農業の「原点」とはどのようなものなのか。再生産が可能な仕組みはできたのか。そして、26年産米価格の大幅下落は農家にどのような影響があったのか。

▶秋本番！ 収穫作業風景



の生産、町内での商品加工に取り組むことにより、農家の実質所得を大きくしていくことが竜王らしい農業振興につながると考える。一方、米価下落は農家の経営努力だけでは限界があると聞いている。

答 農地利用の集積・集約化により、生産性を上げコストダウンを図る農地の採算性追求型農業をめざす。そのため法人の設立と認定農業者の増加が図れる体制の構築を進めたい。
また、2つの道の駅を活用し、米の直売、町内産原料による商品化の促進、高付加価値商品の

答 青年団事務所は長期的に利用することは難しく、町公民館1階の交電フロアや既存施設の有効活用ができないか、利用する時間帯も含め関係者や青年団と引き続き検討する。
次に、団の指導・育成については顧問や指導員とも情報交換を進める中で継続した指導助言を行

問 町は、青年団事務所について、「老朽化が激しく耐震補強対策ができる建物でない」と認めているが、どのように耐震対策を講じるのか。
また、「青年団は町にとつて貴重な財産」とされているが、今後どのように育成するのか同う。

問 青年団の育成と団室の更新は

答 組織強化を図るとともに、

既存施設などの利用を検討する

う。例えば、組織強化運動としての宿泊研修や社会貢献の一環としての環境美化運動などに対して、継続した支援に取り組む、育成を図っていく。



老朽化の激しい竜王町青年団事務所

問 「若者定住・人口増加プロジェクト」の進捗は



山田 義明 議員

答 プロジェクトからの提案を
策定中の計画に生かす

答 人口減少に歯止めをかけ、人口増に向かうための可能性について検討した。
住宅施策として新たな住宅地の確保に向けたハード面での可能性について検討した。また、若者

問 この市内プロジェクトは竜王町の将来にとって大変重要な取り組みであるが、取り組み内容と今後の展開について伺う。



人口減少問題緊急対策会議(平成26年8月)

定住・少子化対策として、若者や転入者にも住みやすい地域づくりの推進、子育て支援として、安心して出産・子育てにつながるための環境整備、いわゆるソフト面での可能性について検討した。
提案内容については、今年度策定中の竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略、第五次総合計画後期基本計画を策定する中で位置づける。

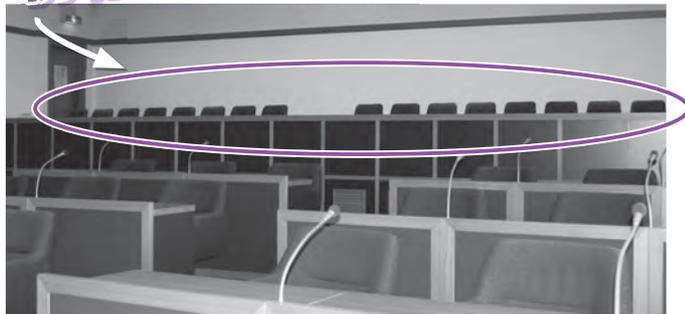
そっだ!! 町議会の傍聴に行こう!

～ どなたでも 傍聴できます ～

議会ではどんな政策が審議されているか、あるいは自分が選んだ議員がどのような活動をしているかなど、傍聴は議会の動きに触れることができる身近な方法です。傍聴について詳しくは、町ホームページをご覧ください。



傍聴席は、**ここ。**



議場は役場の3階にあります

詳細については、
議会事務局 ☎58-3713 にお問い合わせください。

議会傍聴Q&A

問 どのようにしたら傍聴できますか。

答 受付で、傍聴受付簿に住所、氏名および年齢をご記入いただき、随時傍聴することができます。定員は32人です。傍聴受付は3階で行っています。

問 議会日程はどのようにすればわかりますか。

答 町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

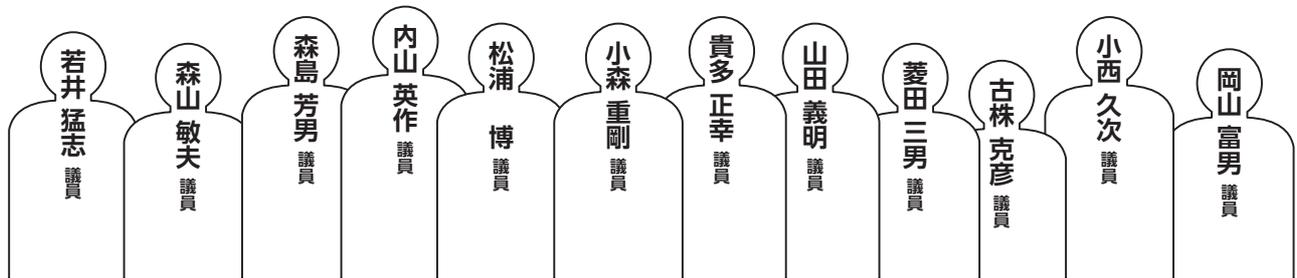
第16期竜王町議会スタート!

任期:平成27年10月1日～平成31年9月30日

10月1日に初議会が招集され、正副議長、各委員会委員、監査委員などの選出を行い、第16期竜王町議会がスタートしました。



～竜王町発展のために全力で頑張ります!!～



議長 小森 重剛

副議長 貴多 正幸

委員会構成

総務産業建設常任委員会

委員長 古株 克彦
副委員長 小西 久次
委員 森山 敏夫
委員 松浦 博
委員 菱田 三男
委員 小森 重剛

教育民生常任委員会

委員長 山田 義明
副委員長 内山 英作
委員 貴多 正幸
委員 若井 猛志
委員 森島 芳男
委員 岡山 富男

議会運営委員会

委員長 菱田 三男
副委員長 古株 克彦
委員 貴多 正幸
委員 山田 義明
委員 岡山 富男

議会広報特別委員会

委員長 森山 敏夫
副委員長 森島 芳男
委員 内山 英作
委員 松浦 博
委員 山田 義明
委員 岡山 富男

地域活性化特別委員会

委員長 岡山 富男
副委員長 菱田 三男
委員 貴多 正幸
委員 小西 久次
委員 松浦 博
委員 古株 克彦

議会選出 監査委員

松浦 博

東近江行政組合議会議員

岡山 富男
古株 克彦

八日市布引ライフ組合議会議員

森山 敏夫
内山 英作

中部清掃組合議会議員

小西 久次
森島 芳男

シリーズ いきいき人生

岡屋在住 やまなか しげる 山中 茂さん

人の為に働く喜びを感じよう

私の人生、消防抜きには語れません。私は、昭和62年に消防団入団、岡屋消防団の一員として活動が始まりました。

当時は西東の2分団制で、町のポンプ操法大会での優勝、さらには2度にわたり県大会へ出場しました。当時の練習スケジュールは一か月半の間、休みなしで朝5時から2時間、消防署の指導もあり、幹部の皆さんにも厳しく指導いただき、途中にはバーベキューで一息入れていただきましたが、先輩たちの激励が強烈でありました。厳しくもありながら楽しかった団員時代、もうそろそろ退団かなと思っておりましたら、平成8年に3分団制に組織が変わり機関部長に推挙いただいたのをきっかけに各役職を経験し、平成24年には団長に就任させていただきました。

私の活動スローガンは「人の為に働く喜びを感じよう」であります。活動の中には苦しいことも楽しいこともあると思いますが、仲間たちに会いたいと思うこと、消防が好きになればおのずと喜びを感じることができると思います。私の消防人生の節目には必ず、素晴らしい仲間、先輩がいました。今の私があるのは、その方達のおかげと感謝致しております。

消防団の一番大切な仕事は、やはり「火の用心」であります。これからも、皆さんが安心して暮らせるように活動してまいりたいと思います。



編集後記

我々15期議員は、二元代表制の一翼を担いながら、住民皆様の負託を受けた機関として、意思決定を行うその役割と責任は非常に重いものがあると、自らを律して活動してまいりました。

また、開かれた議会、情報発信と説明責任を果たし皆様から信頼される、存在感のある議会を目指してまいりました。そのために、議会基本条例を推進し、その一環として議会報告会、子ども議会にも取り組んできました。その場で戴きましたご意見や子ども議会での提言につきましては、今後のまちづくりに役立てたいと考えています。

12名でスタートした第15期議会でしたが、任期途中で2名の同僚議員とお別れするという悲しい事態となり、任期最後までとの願いが叶わず残念でなりません。

一期4年間、ご支援ご協力を賜りました町民皆様に、心から厚くお礼申し上げます。



議会広報特別委員会
委員長 松浦 英博
副委員長 内山 英作
委員 竹山 兵司
岡山 富男
古株 克彦